

難聴教育セミナー

2017年4月24日(月) 18:00~20:00 大阪市立住まい情報センター 3F

主催：日本光電工業株式会社 協賛：株式会社日本バイオニクス

後援：東京医科大学病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 聴覚・人工内耳センター フォナック・ジャパン株式会社

18:00-18:10

開会のごあいさつ

河野 淳先生

東京医科大学病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科教授

聴覚・人工内耳センター部長

18:15-19:45

演題

『聴覚障害をもつ学習者の言語、認知、実行機能』

("Language, Cognition, and Executive Functioning of Deaf Learners")

講師 Marc Marschark 先生、

国立聾工科大学教授 (NTID)、ロチェスター工科大学(RIT)

教育研究センター所長 (CERP)

座長： 四日市 章先生

筑波大学名誉教授

19:45-20:00

質疑応答

閉会のごあいさつ

齋藤 友介先生

大東文化大学 文学部 教授



マーク・マシャーク先生は難聴児の言語や学習、発達を専門とする心理学者です。近年では『デフスタティーズ：ろう者の研究・言語・教育（オックスフォード・ハンドブック）』の編著に携わるほか、多数の著書があります。今日まで一貫して、聴覚障害者の言語、学習、認知の関心に焦点を当てた研究を行ってきました。最近では、聾教育の誤解や誤解の原因（および現実）を明らかにする、様々な研究が行われています。また、人工内耳装用児を含む聴覚障害児の言語（手話、口話、読み）と認知（視覚-空間、社会的、記憶）の関係を調べるプロジェクトにも関わられています。本講演では、聴覚障害児の言語・認知、実行機能について講演して頂きます。

英語／日本語の逐次通訳、要約筆記が付きます。